

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和元年度分）

施設	名 称	栃木市大平児童館
	所 在 地	栃木市大平町蔵井2007-1
	施設内容	児童厚生施設
指定管理者	名 称	学校法人しずわでら学園
	所 在 地	栃木市岩舟町静和1151-4
	主な業務内容	認定こども園しずわでら学園、認定こども園ふじおか幼稚園 子育て支援センターもりのカフェ の運営

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値		
	アンケート数			500件	434件		
	利用者意見反映数			2件	3件		
	施設案内掲示数			5か所	5か所		
	苦情発生件数			0件	0件		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	<p>①児童福祉法第35条第3項に基づき、児童を健全に育成することを目標として施設運営方針を定めました。また、事務室に掲示し職員が常に意識できるよう努めました。</p> <p>②施設の案内を玄関や各部屋に表示、またホームページでも案内することで、誰もが利用しやすいようにしました。</p> <p>③利用者満足度向上のため、夏休み中の利用者アンケート調査を119件、また、各種イベントごとの参加者アンケート調査を315件実施しました。台風19号と新型コロナウイルス感染症への対応で臨時休館や事業中止が相次ぎ、アンケート数が計画値を下回りましたが、調査内容によりイベントなど3件を実施しました。</p> <p>④意見箱を設置、また苦情申出窓口を設置し利用者の意見を把握するよう努めました。苦情処理の基本的なマニュアルを作成し、苦情があった場合スムーズに対応できるよう努めました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の運営方針に基づき、適正な管理運営を行っている。 ・アンケートの実施や意見箱の設置など、利用者の声を聴く体制を取り利用者ニーズの把握に努め、運営改善の意識を持って取り組んでいる。 ・好評事業である幼児や産後のママを対象にした事業も継続しており、幅広い行事を展開している。 						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	利用者数		18,500人		18,419人		
	新規事業数		2事業		11事業		
	じどうかんだより発行部数		20,400部		20,400部		
	地域との協働事業数		5事業		11事業		
	協働事業参加者数		50人		17人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①年間の事業計画に基づいて開館し事業を実施しましたが、台風19号の影響で2日間の臨時休館と2事業の中止、新型コロナウイルス感染症への対応で18日間の臨時休館と13事業の中止を余儀なくされました。</p> <p>②毎月発行のじどうかんだよりに加え、ホームページ・広報誌・ケーブルテレビ・Twitter・LINEなどを積極的に利用し、幅広い周知を図りました。今回は特に災害などで緊急のお知らせが多かった中、LINEやTwitterが役に立ったと感じています。</p> <p>③児童館条例で定められている開館時間を延長することで、施設の利便性を高め利用者の拡大を図りました。台風19号の復興支援イベントとして「アロマハンドマッサージ」の新規事業を開始、また台風19号の影響で中止したおまつりの代替えとして2事業実施しました。その他多数の新規事業を実施しました。</p> <p>④地域住民などの協力で毎年開催している「こどもフェスティバル」が台風19号への対応で中止したため、協働事業参加者数は大きく減少しました。しかし、復興支援イベントをやらせてほしいというボランティア団体の協力で数回新規事業を実施したため、協働事業数としては計画値を大きく上回りました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母親向けの新規事業を複数実施するなど、保護者の気持ちに寄り添い、利用者増加に向けた取組みができていることは評価できる。（子育て支援拠点事業等） ・ 特にLINEやTwitterなどSNSを活用することで、利用者に対しダイレクトに情報を発信することができ、災害等による施設の開設状況等についても、迅速に対応している。 ・ 時期により開館時間を延長し、利用者拡大を図っている。また、施設の特徴を活かし、天体観測等も定期的実施しており、災害や感染症防止対策で休業期間があったにも関わらず、昨年に近い利用者数を確保できたことは評価できる。 						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	見積合わせ実施数		5件		5件		
	施設修繕数		7件		10件		
	備品等更新数		7件		1件		
	事業費削減額		122,625円		114,230円		
	事業費削減率		5%		4.7%		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①指定管理業務にかかる収支について専用口座を設け、出納責任者を2名配置し確認体制を強化することにより、正確な管理を行いました。</p> <p>②リサイクル品の使用によるイベント消耗品の削減、光熱水費の効率的な利用に努め、イベントや施設の充実を図りました。</p> <p>③業務委託に関して、経費削減やサービス向上等考慮し、委託業者との信頼関係も築くよう努めました。</p> <p>④安心・安全に考慮し、危険個所の修繕や備品の交換等を行いました。また、エアコンの清掃を職員や業者にて定期的に行い、温度管理を徹底することで、省エネにも力を入れました。修繕に関しては、長年使用している大きな遊具の修繕、トイレの故障が多く、修繕数が計画値を上回りましたが、修繕で済んだものが多く備品の購入は1件で済みました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・出納の確認体制を強化し適切な収支手続を行っている。 ・リサイクル品を使用しての消耗品費の削減や、エアコン清掃や温度管理の徹底による経費節減を図る等、省エネ対策に取り組んでいる。 ・定期的に施設や備品等の安全点検を実施し、安心・安全な児童館運営に努めているが、施設の老朽化に伴い修繕費等の削減は取り組みが難しいと思われる。 						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
	⑤	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			1日2名以上	1日2名以上	
	職員研修会開催回数			1回	1回	
	研修会参加回数			3回	6回	
	勤務時間数(1人あたり)			1日8時間以内	1日8時間以内	
	経常収支比率			100%		
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	II	0.8
指定管理者コメント	<p>①栃木市児童館条例並びに基本協定書に基づき、施設の運営に必要な職員配置を行いました。総括責任者として館長を1名配置、業務従事者すべての者が児童厚生員(保育士・幼稚園教諭等)の資格を有し、常に2名以上の人数配置をしました。</p> <p>②職員研修会を実施、また児童館連絡協議会主催の研修会にも進んで参加しました。次年度以降も積極的に参加したいと思います。</p> <p>③④健康保険料・厚生年金保険は私立学校共済保険に加入、また各種税金も適切に納めました。</p> <p>⑤別紙にて</p>					
施設所管課コメント	<p>・指定管理者の基本協定書に基づき、業務従事者すべての者が児童厚生員の資格を有するなど、適正な職員配置を行っていたが、特別休暇取得中における館長対応事案が多く見受けられた。本部の支援や施設職員の能力向上に努め、状況に応じて迅速に対応いただけるよう要望する。</p> <p>・研修会に積極的に参加し、職員の資質・能力向上を図ったことは評価する。</p> <p>・財務状況について、前年より改善はみられるものの、更なる安定的な経営を期待する。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値		実績値		
	安全定期点検実施回数		12回		12回		
	事故発生件数		0件		0件		
	訓練実施回数		12回		12回		
	訓練参加者数		100人		139人		
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1	20	I	1	20
指定管理者コメント	<p>①日々の安全点検に加え、月に1度定期点検を実施し、トラブルを未然に防ぐとともに、修繕を適期に実施しました。また、消防設備などの法定点検も適期実施しました。</p> <p>②安全管理マニュアルを各場面ごとに作成し、事務所に保管するとともに、職員に配布し、的確な対応ができるよう努めました。</p> <p>③総合訓練の他、消火器等の点検を毎月実施しました。職員や利用者の防災意識を高めるものとなりました。</p> <p>④個人情報保護マニュアルに基づき、適切に管理しました。</p>						
施設所管課コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる施設の安全面に配慮した点検、修理を実施している。災害後の復旧についても迅速に対応していたことは評価できる。 ・危機管理マニュアルを策定し、マニュアルに基づく適正な対応が図られるよう、取組みをしている。 ・避難訓練を実施し、職員及び利用者の防災意識の向上を図っている。 ・個人情報の取り扱いについて、マニュアルに基づく適正に管理できていた。 						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	88	84	
総合評価		A	A	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	平成29年度	平成30年度	令和1年度
資産総額	1,371,620,864	1,338,757,008	1,333,033,465
売上高	433,220,797	465,524,390	495,335,694
経常利益	328,645,805	△33,325,886	△23,673,788
当期利益	328,645,805	△35,116,086	△31,165,790
経常収支比率	101.33%	93.32%	95.45%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	平成29年度	平成30年度	令和1年度
経常費用	433,671,198	498,643,668	520,317,196
経常収益	439,455,003	465,317,782	496,643,408
経常収支比率	101.33%	93.32%	95.45%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

平成29年度においては通常より当期純利益額が高く、その要因は、ふじおか幼稚園新園舎建設に伴う施設設備補助金(特別収入)計上が挙げられます。

平成29年度から平成30年度にかけては、新卒教員給与のベースアップ等も影響し、人件費全般の底上げにより、人件費の前年対比増加は余儀なくされました。また、経常利益マイナス要因としては、新園舎建設に伴う減価償却費増加も挙げられます。

平成30年度から令和元年度においては、園児増加も寄与し、収入は増加傾向にあり、経費もやや削減できております。経常収支比率は100%を下回っておりますが、借入金返済額は減価償却費を下回っておりますのでキャッシュフローベース上は問題ないと思われま